

第 17 回平和リレー講座

2017 年 4 月 29 日実施

実施結果の概要

1. 受付の様子

集合場所の上郷コミュニティセンターで受付を済ませ、しおりの配布、行程の説明のあと、参加者 50 名はマイクロバス 2 台に分乗して見学コースへ。



2. 給水施設



枡塚西町の民家の庭先には矢作川の水を送水したポンプ場の跡が残されている。この近くには旧海軍の貯水池や給水設備があった。

3. 枡塚味噌



野田味噌商店の味噌蔵は岡崎海軍航空隊の兵舎や格納庫を再利用したもの。岡崎海軍航空隊の元兵士(90代)が昨年ここを訪ね、自分が整備した飛行機で戦友が死んだとの話を聞いた。

4. 枡塚西町の戦没者墓碑



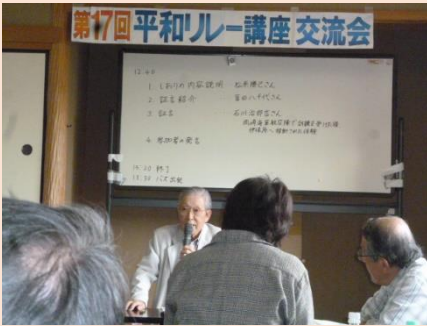
15 基ある墓碑は町内の戦没者。現在まで町民により管理維持されてきたが高齢化に加え新規移転者の急増で移転の危機に直面している。

5. 柳川瀬公園: 若桜の碑



終戦直前この地で岡崎海軍航空隊 12,000 人の若者が 6 か月の訓練を受け内外に配属され尊い命が失われた。ここに碑を建て、桜を植樹して後世に伝え残している。

6. お昼の会場で証言を聞く



元予科練生の戦争体験を聞いた。特攻機に 500 kg爆弾を溶接で固定し、平気でいた。人間の洗脳は恐ろしい。戦争はやってはいかんと話した。

7. 熊野神社:海軍航空隊の解説



安城市の熊野神社に第一岡崎海軍航空隊の由来が詳しく記されている。航空隊の広大な跡地は戦後再開拓され美田に戻ったが高度経済成長を経て当時を偲ぶ痕跡もないため戦後 40 年を経て記した。

8. 防空監視塔:開拓記念碑



第一海軍航空隊の防空監視塔が第 4 工区開拓記念碑として安城市尾崎町の共同墓地に残されている。

9. 山王神社



豊田市福受町の山王神社は福受町民の氏神。昭和 19 年戦争のため飛行場となり移転し昭和 39 年に現在地へ戻った。今回の事前調査で神社の売買と移転に関する関係文書が新たに明らかになった。

10. 福受町区民会館:開拓記念碑



飛行場の跡地は戦後に農地とするため 4 つの工区に分けられ開墾された。福受町区民会館に第 2 工区の開拓碑がある。昭和 18 年に農家62戸約400人が移転を命じられた。物資が不足する中の解体・引越は釘1本まで運ぶなど苦難の極限状況を関係者から体験話を聞いた。